

令和2年4月6日（月）

令和2年度 1学期始業式挨拶

今日から令和2年度、新しい学年となりました。令和2年は、新型コロナウイルス感染症の影響で3月がほぼ学校が臨時休業となり、約1か月強、学校がお休みとなりました。東京や関西及び隣県、県内でも新たな感染者が増えています。いつまた、臨時休業になるかわかりません。全国の高校生がピンチです。「ピンチをチャンスに変える」意識が非常に重要です。そこで、昨年度のスローガンは「イノベーション元年 唐津西高」でしたが、令和2年度のスローガンは「One Step One Up One Team Nishi」です。

年度の初めに当たり、より良いOne Stepを踏み出すために本年度よりグランドデザイン（教育目標）を作りました。この中に、グラデュエーションポリシー（このような卒業生を育てます）として、「人とつながる力を大切に、情報の取捨選択ができる、確かな人間力を持つ」と「協働の精神を持ち、地元の課題を発見し、地元から信頼される」ような生徒を育てて卒業させる方針（ポリシー）を作っています。そしてこのグラデュエーションポリシーを達成させるためのOne Upのカリキュラムポリシーとして「双松の力」の9つの力「地域力、発信力、共感力、基礎力、解決力、人間力、表現力、自走力、継続力」を身に付けさせたいと思っています。これらの力の身に付けるためには、本校の教育姿勢である「師弟同行（していどうぎょう）（共育）」が必要です。「師弟同行」はやや古い言葉ですが、先生と生徒が教育的活動を通してともに学びあう、励ましあうという意味です。すなわちOne Teamとなることです。学校は基本的に学ぶ場所です。一人では気が付かないことやできないことを、「教師・友人ともに集団生活を送ることで学ぶ」ということです。しかしながら、この学ぶというのは、机に座って教科の勉強をすることだけを指しているわけではありません。人は人によってしか変わることができない、と言われていました。部活動はもちろん、修学旅行や研修会、学級活動、休み時間のおしゃべりを通して成長してほしいと思います。人生は学びの連続であり、隣の席に座っている友人も立派な手本です。互いに切磋琢磨して基礎学力の向上に励み、高校時代に学ぶ姿勢を確立して、「師弟同行・共に育つという共育の精神」で「双松の力」を身に付け、頑張ってください。

1学期は、特に「人間力」に重点をおいて学校生活を送ってほしいと思っています。

「人間力」とは何かというと、社会で生きていくための力です。その基本が「明るい挨拶 気持ちの良い挨拶」です。変化が激しい社会において大切なのは、主体性の「自走力」を持つということです。ともすれば、自分自身を見失いそうになることもあるかもしれません。そんな時こそ、誠実に生きていくことが重要であります。その基本は挨拶です。多くの大人が挨拶は大切だといいます。コミュニケーションをとる第一歩が挨拶だからその機会を失わないための挨拶です。「挨拶は、あ…明るく、い…いつも、さ…先に、つ…続けて」です。「明るい挨拶 気持ちの良い挨拶」を実践すれば、学校全体が明るく、気持ちよく過ごせる場となり、嫌な思いする人が減り、「いじめゼロ」となる学校を目指せると思います。

最後に、朝、今日も頑張るぞという気持ちで希望を持ち、「明るい挨拶 気持ちの良い挨拶」で始まり、「師弟同行」の気持ちで学び合い、夕にすべての人に感謝すれば、皆さん一人ひとりの目標が達成でき、充実した高校生活が過ごせます。健康に留意し、責任ある行動を心掛け、「One Step One Up One Team Nishi」に挑戦できる有意義な一年となることを祈念し、始業式の挨拶とします。